

(1998. 6～発行)

県連速報 NO. 139

(栃木県生協連・速報)

発行責任者 会長 竹内明子

編集責任者 専務 鎌柄克美

2009年10月12日(火)

10月11日(日)7時50分集合、那須塩原市(旧黒磯市)那珂川河畔運動公園で、「平成21年度栃木県・那須塩原市総合防災訓練」が(8月30日予定が総選挙で延期)実施されました。とちぎコープ生協10名、とちぎよつ葉生協3名、栃木保健医療生協2名、生協連3名、計18名の参加をいただきました。

10月11日午前8時59分、栃木県北部に直下型の地震が発生し、マグニチュード7.3、震度6強を想定し、防災訓練が県内及び同市内72の機関、団体が参加して那須塩原市那珂川河畔運動公園で実施されました。(天気は朝方の晴れとその後の曇天と強く冷たい風・昼頃は晴れ、変化のある天候の中でした。)

栃木県生協連としては、今年で7年目(第1回目真岡市、2回目旧日光市、3回目栃木市、4回目矢板市、5回目佐野市、6回目日光市(旧今市市)、今回の那須塩原市(旧黒磯市)の参加になります。今年の7月16日那須塩原市ととちぎコープ、とちぎよつ葉生協との3者による防災協定の調印式が行われたこともあり、大切な訓練参加となりました。今回も、配送車5台、展示テント1張りで昨年の規模となりました。

訓練の1～2回目は、緊急物資の輸送・受け入れ訓練で、栃木県トラック協会の訓練内容に加わった形でしたが、05年・06年は郵便局との共同訓練でした。07年から生協連独自の応急物資の供給訓練で、飲料を避難所に配送し、届ける訓練に切り替えることができました。訓練時間も昨年から5→7分に伸ばしていただきました。また、展示テントでの医療生協の血圧測定も、天谷理事長自ら参加され2名体制で対応いただきました。今年初めて、日本生協連作成の「生協の災害対応などの取り組み」のタペストリーを7枚展示しましたが、強風の中揺れが激しく見て・知っていただける環境としては、難しいものがありました。

参加者は、とちぎコープの西那須野センター(加藤センター長、西野副センター長)、高根沢センター(菊地センター長、植竹リーダー)、本部(塚原次長、大川次長、佐々木組織担当、中村業務担当)含め10名で配送トラック4台、とちぎよつ葉生協本部の(望月管理部長、塚原参事、谷中担当)3名で配送トラック1台、栃木保健医療生協(天谷理事長、柴野専務)2名、生協連竹内会長理事、鎌柄、稲葉の3名、計18名と昨年同様多くの方に参加いただきました。



(左、お茶入ったケースを避難所に届ける訓練では、会場も広く比較的余裕を持ってきびきびと訓練ができました。また、訓練を見られていた小さなお子さんとお母さん達が、生協のトラックに手を振ってくれている光景が印象的でした。)

(右、生協連の展示テントで血圧測定をされる見学者の方と医療生協の天谷理事長)

配達訓練後に、展示コーナーのテントで、CO-OP緑茶ペットボトル350ml千本(とちぎコープからの提供)を、見学者の県民の皆さんに配布しました。生協の訓練終了後、緑茶は短時間ではけてしまいました。

事前の準備を含め防災訓練に参加いただいた会員、ご協力いただいた皆さんに、感謝致します。ご支援ありがとうございました。2010年の会場は宇都宮市の予定ですので、また、よろしく願い致します。